トラウマ&バイオレンス・インフォームド実践研究会
特別研修

実践に活かすアタッチメント理論
―子ども・若者・親の支援のために―

アタッチメント（愛着）とは、人が不安や恐れを強く感じたときに、特定の個人にくっつくことで、安全の感覚を回復しようとする生来的な欲求であり、乳幼児期だけではなく、老年期にいたるまで機能し続けるものです。アタッチメント理論は、人間を理解するための基礎となる重要なものです。けれども、対人支援の現場においてもアタッチメントの理解はまちまちで、「愛情」と混同されたり、「愛着障害」という言葉が安易に使われたりしています。そこで、今回はアタッチメント研究の第一人者である数井みゆき先生をお招きします。前半では対人支援者には必須のアタッチメント理論の基本を学び、後半ではアタッチメントの視点から事例を読み解いていきます。

日時：2025年　6月２１日（土）13:00～17:00

場所：日本福祉大学　東海キャンパス
アクセス：名古屋駅から名鉄常滑線「太田川駅」下車、徒歩5分

対象：子ども・若者・親の支援にあたる福祉・心理・医療・保育・教育分野の実践者および、この分野を学んでいる学生等

講師：数井　みゆき先生（茨城大学　名誉教授）
コーディネーター：久保　樹里先生（日本福祉大学　准教授）

受講料：対面　6,000円（税込）＊後日YouTubeでのアーカイブ視聴あり　詳細は裏面
定　員：１００名
申込締切：6月10日（火）17:00
申込方法：☛詳細は裏面にあり

申込み・問い合わせ先

日本福祉大学 社会福祉総合研修センター
電話：052－242-3069（平日10時～17時）
メール：ckjimu@ml.n-fukushi.ac.jp

申込フォーム

申込方法：

・申込期限までに申込フォーム（前面右下）からお申込みください。
・受講の申込み受付は先着順になります。
・入金後の返金はできませんので、ご了承の上お申し込みください。

参考購読書（読んでから参加されると、より学びが深まります）：

・遠藤　利彦 編『入門 アタッチメント理論　臨床・実践への架け橋』
2021年　日本評論社
・北川　恵 著『アタッチメントを学ぼう
エピソードでつなぐ関係性の理解と支援』2025年　日本評論社

お知らせ：

・本研修は事後に編集を加えた後、YouTubeによるアーカイブ視聴（有料）の提供も予定しています。（7月上旬頃案内予定）
・8月下旬にはトラウマフォーカスト認知行動療法(TF-CBT)研修を予定しています。申込方法など詳細は、日本福祉大学リカレント教育ホームページなどでお知らせします。（HPのQRコードは右下）

注意事項：

・会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
・欠席された場合でも、後日開催するアーカイブ視聴が可能です。
(ただし事例検討に関わる詳細内容などは対面講義でのみ共有される予定です。詳細の把握を希望される方は対面でご参加ください)
・アーカイブ視聴のみをご希望の方は、7月上旬にご案内予定の申し込みフォームから申し込みをお願いします。（リカレントHP内に掲載）

リカレントHP

プログラム内容

一部　13：00～15：00
講義とワーク：アタッチメント理論の解説
講師：数井みゆき先生
二部　15：10～17：00
講義とワーク：アタッチメントの視点からの事例検討とまとめ
講師：数井みゆき先生
コーディネータ：久保樹里先生

※ 研修内容は、変更の可能性があります

日本福祉大学トラウマ＆バイオレンス・インフォームド実践研究会では、トラウマ及び暴力と支配のメカニズムの正しい理解に基づく支援実践の普及を目指しています。